

\*\*\*\*\*

2009年度 第6回 音環境運営委員会 議事録

記録:渡辺

\*\*\*\*\*

- A. 日 時 2010年3月16日(火) 17時00分~19時00分
- B. 場 所 建築学会会議室
- C. 出席者 安藤 啓、佐久間哲哉、佐藤史明、田端 淳、土田義郎、中澤真司、濱田幸雄、平松友孝、平光厚雄、堀之内吉成、峯村敦雄、宮島徹、吉村純一、渡辺充敏(敬称略)  
欠席者 井上勝夫、大鶴 徹、岡田恭明、羽入敏樹(敬称略)
- D. 提出資料
- No.6-0 2009年度 第5回音環境運営委員会議事録(案)(堀之内)  
No.6-1 2009年度 小委員会活動成果報告、音環境運営委員会自己評価(田端)  
No.6-2 日本音響学会建築音響研究会・今後の予定(佐藤)

E. 審議事項

1. 前回議事録確認(資料No.6-0)
- ・「4.」の3番目の文章を「論文編集委員会に佐久間先生を推薦」に修正。
  - ・「5.」の建築音響測定法小委員会の活動報告で、「EN12364」を「EN12354」に修正。
  - ・「5.」の企画・広報WGの活動報告で「12月28日」を「11月28日」に、「主集」を「収集」に修正。
2. 環境工学本委員会報告(田端主査)
- ・ 次の内容について環境工学本委員会に報告、連絡した。
    - ・ 2010年度大会の研究懇談会での主題解説者として佐藤洋先生を推薦した。ただしISO会議と重なる場合は再調整。
    - ・ 論文集、技術報告集査読委員に7名の方をリストに加えてもらうように推薦した。
    - ・ 各小委員会活動報告、音環境運営委員会の自己評価を提出した。
    - ・ 司法支援建築会議の会員候補に安岡博人氏を推薦した。
  - ・ 音環境アカスタWGを4月から小委員会として発足する件は了承された。ただし、アカデミックスタンダードとの名称について追って議論する。
  - ・ 2010年度大会に関して次の報告があった
    - ・ 講演要領と司会要領が決まった。環境工学は今まで通りの講演、発表時間である。
    - ・ 環境工学研究協議会のテーマは「地球環境時代に環境工学はどう社会貢献できるか？」である。
    - ・ 研究懇談会のテーマは「どんな快適環境をめざすのか：環境工学研究の基本枠組みを再考する」である。各運営委員会からの主題解説が9件と増えそうであるため、一題あたりの時間を減らすかも知れない。
    - ・ 光環境のパネルディスカッションは正式に取りやめとなった。
    - ・ オーガナイズトセッション「音環境の数値シミュレーションの新展開」は、申込題数5件、採択数5件で決定した。
  - ・ 各種委員推薦に関して、論文集委員会委員に佐久間先生が推薦され、決定した。
  - ・ 論文集委員会査読委員、技術報告集査読員に、音環境として7名を推薦して、全員採択された。
  - ・ 司法支援建築会議の委員推薦に関して、安岡博人氏を推薦したが、更なる推薦の話があった。人数増やしたいとの事であり、依頼時点で50~65歳の方が望ましく、自薦の方、推薦出来る方があれば連絡頂きたい。
  - ・ 建築年報2010「建築界の動向と展望」に環境工学として4頁執筆の依頼があり、音環境では新潟大の大嶋先生に執筆頂く事になった。
  - ・ アカデミックスタンダードの名称変更に関して次の報告、審議があった。
    - ・ 基準と言う意味に対して、アカデミックスタンダードとの英語は妥当ではないので使わないようにし、伴って小委員会、出版物の文章も変えていく。なお、AIJESとの略称、日本建築学会環境規準という言葉は問題ない。
    - ・ 音環境アカデミックスタンダード小委員会が4月から発足するにあたり、名称を考えたい。
    - ・ 「音環境規準検討小委員会」との名称案が出された。

◇ 名称案は、平松主査が現・音環境アカデミックスタンダードWGに持ち帰って検討し、良ければ田端主査から委員長に報告する。

- 環境工学委員会の開催回数が年間5回に減る。
- メールマガジンを利用して、大会投稿の際の分類、細分類、細々分類が妥当だったのかのアンケートをする事になった。
- 小委員会活動報告はWebにアップ済みであり、運営委員会の自己評価についても同様にアップする事が確認された。
- 音環境運営委員会の自己評価について、主査から説明があった。

### 3. 小委員会・WG 活動報告

#### 固体音小委員会（中澤主査、平松委員）

- 2/19に開催した。
- 1/29に清水建設技研に於いて、委員15名を被験者として床衝撃音の聴感試験を行った。研究者と学生で評価点の付け方の傾向の違いが見られた。濱田先生が継続して解析を進める。
- 音環境アカスタWGから、最大A特性床衝撃音レベルの算出方法検討の話があり、今後対応する。
- WG開催は4/16を予定している。
- 活動成果報告に関しては、資料の通りである。

#### 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（濱田主査）

- 2/19に開催した。
- 室内騒音に関するアンケート結果の一覧表を作成して委員に配布し、内容について検討、まとめ方について討議した。
- 活動成果報告に関連して、他の委員会との接点が多いので、音環境運営委員会で各委員会の状況を把握して、効率的に作業分担を図り進めて行きたい。

#### 建築音響測定法小委員会（宮島主査）

- 2/15に第五回を開催し、次回は4/15を予定している。
- インピーダンス測定法について、アカスタ的な書式にまとめる作業を継続している。
- 実騒音による遮音性能測定法を超高層現場で2/8に実施し、現在分析中である。
- フランキングについては、勉強を継続している。また、明らかにフランキングが生じている所の測定について検討している。
- 活動成果報告に関しては、資料の通りである。

#### 室内音響小委員会（羽入主査、堀之内幹事代読）

- 2/27に第五回を開催した。
- 建築家とのシンポジウムを10～11月の開催を目指して企画している。
- 設計に役立つデータベース作成を目指して、現存の吸音に関する基準、資料を収集した。

#### 音響数値解析小委員会（佐久間主査）

- 3/17に第三回開催予定。
- オーガナイズトセッションに5題集まった。関連の発表もまとめて2セッションくらいになると考えている。
- 次回の委員会で執筆原稿の読み合わせ、議論を行う。40%の進捗を目標と考えている。

#### 企画・広報WG（峯村主査）

- 2/3に開催し、次回は4/14を予定している。
- 研究動向調査では、建築学会、音響学会、騒音制御の大会を対象としたデータベースの作成のための整理・分類の方法を検討してきたが、整理等が進んだので実際の作成に移りつつある。
- 騒音問題のための住まい方マニュアルの作成では、誰が使うのかが議論になっている。対象者や要点を整理したマトリックスを使って、方向性を提案していきたい。既往の同種のマニュアルも集めている。また、BCSでも同様の流れもあるようなので、情報共有も考えている。

#### 音環境アカデミックスタンダードWG（平松主査）

- 1/28に第五回を開催した。
- 重量床衝撃音に関する規準は、WGとしてはボールで一本化する。
  - 遮音性能規準では、軽量鉄骨、木造系の区別を設けず、ランク分けだけすれば適用は可能と考えた。集合住宅の遮音設計指針では、ボールのデータはほとんど無いため、軽量鉄骨、木造系は含めない。
- 3年後には、ホテルと事務所の遮音設計指針を作成しようと考えている。
- 集合住宅の遮音設計指針SWGを2/4、遮音性能規準SWGを2/9に開催し、継続論議した。

#### 4. 他学会の予定

日本音響学会・建築音響研究会(資料 No. 6-2)	3/31	ヤマハ豊岡工場	5 件発表
	4/26	東大生研	7 件発表
	5/21	日本大学(御茶ノ水)	

新執行部：阪上委員長、羽入副委員長、池上副委員長、豊田(京大)幹事、豊田(小林理研)幹事、星幹事補佐

#### 5. その他

- 佐藤委員は、4月で建音研委員長を交代するが、音環境運営委員会は継続する。
- 日本建築学会設計計画パンフレット4の改訂に関する質問があり、経緯の確認があった。改訂が具体的にになった場合の際の受け皿は、企画・刊行になると見られるが、音環境運営委委員会にも話しがあらと思われるので、その段階で調整する。
- 実験用教材はまだ出ないのかとの質問があった。
  - 環境工学本委員会の議題にあがっていなかった。事務局に聞けば分かるかも知れない。
- 事務局の担当は、大野氏から酒井氏に替わる。

#### 6. 次回の予定

- 2010年度も開催日は、環境工学本委員会と同日の17時からとする。
- 次回は2010年度の第一回となる。
  - 次回、5月19日(水) 17:00～ (5/14から変更)

2010年度 音環境運営委員会予定	
第1回	2010.5.19(木)
第2回	2010.7.29(木)
第3回	2010.9.27(月)
第4回	2010.11.18(木)
第5回	2011.2.21(月)